

ハンドメイド用語集 保存版

【目打ち】

先のとがった道具。角をきれいに出すときや、簡単な印つけをする際使用。先が鋭いので使用後はカバーをつけて。



【や】

【指ぬき】

手縫いをするときに、きき手の中指にはめるもの。針が通りにくい布でも、針を押し上げながらラクに縫うことができる。



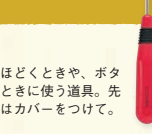
【用尺】

必要な布の長さ(分量)のこと。

【ら】

【リッパー】

縫い間違った所をほくときや、ボタンホールをあけるときの使用道具。先が鋭いので使用後はカバーをつけて。



【ループ】

布やひもで作った輪のこと。

【ロータリーカッター】

刃が回転するカッター。切り口がきれいでスピーディーに布を切ることができる。



【わ】

【わ】

布を二つ折りにしたときの折り目部分。

【割る】

縫い合わせた縫い代を左右に開くこと。

【端ミシン】

布端を折って、折り山にミシンをかけること。

【ひも通し】

ひも通し口からひもを通す際に使う専用の道具のこと。細いひもの場合は安全ピンやヘアピンでも代用可。

【二つ折り】

布を1回折ること。また、半分に折ること。

【縁かがりミシン】

布の裁ち端のほつれ止めとしてかけるミシンのこと。ジグザグミシンやロックミシンを使用。

【ボタンホール】

ボタンを通す穴。ミシンで作る場合と、手縫いで作る場合がある。

【ほつれ止め】

布端のほつれを防止するための溶剤。

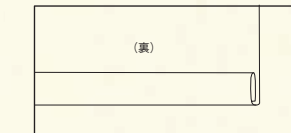
【ま】

【まち】

作品に立体感を出すためのパーツや部分。

【三つ折り】

布端から、2回折りたたむこと。



【な】

【中表】

2枚の布を重ね、両方の布の表が向き合うように合わせることを。

【縫い代】

布を縫い合わせるための、でき上がりの印から布端までの余り部分のこと。

【縫い止まり】

“縫う”のを終える位置のこと。

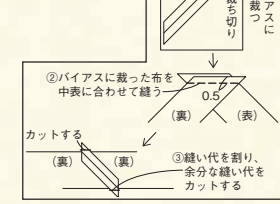
【縫い目】

縫ったときのほぎ目。

【は】

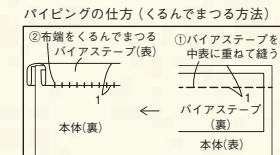
【バイアス布】

布を地の目に対して45度の角度で一定の幅に裁断したもの。



【パイピング】

バイアステープなどで布端をくるみ、始末すること。装飾としても用いる。



【くるみボタン】

布でくるんだボタン。サイズは限られるが、専用キットもある(写真)。



【さ】

【しつけ】

本縫いをする前にしつけ糸を使い、仮に縫いとおくこと。コットンタイムでは“仮どめ”という。

【接着芯】

布に貼るためののりがついた芯地。布に貼ることにより、張りをもたせ美しいシルエットを作り、型崩れを防ぐもの。



【外表】

2枚の布を重ね、両方の布の裏が向き合うように合わせることを。

【た】

【裁ち切り】

縫い代をつけずに裁断すること。また、縫い代が不要な裁断を指すこともある。

【裁つ】

裁断すること。

【ドミット芯】

芯地の一種で、わたを圧縮して布状にし、片面にネット状のものがついているもの。伸びにくい特徴がある。写真は6cm幅にカットされたもの。



【共布】

柄や素材が同じ布のこと。

【あ】

【あき止まり】

“あき”が終わる位置のこと。

【落としミシン】

表から縫い目の上を縫うこと。また、縫い目のきわを縫うこともある。



【か】

【型紙】

作品を作るための型を描いた紙。あらかじめ縫い代がついた型紙と、縫い代がないものがある。コットンタイムの型紙は縫い代を含まないものが多い。

【柄合わせ】

チェック地や大柄プリントなどを使用する際、でき上がりの柄がずれないように模様を合わせて裁断すること。

【ギャザー】

ぐし縫いまたは粗目でミシンをかけ、糸を引き絞って、しわを寄せる技法。

【キルティング地】

生地と生地間にキルト芯を挟み、ミシンステッチをかけた生地。ステッチにはさまざまな模様がある。

【キルト芯】

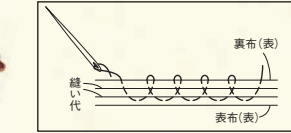
芯地の一種。わたを布状にしたもの。薄手～厚手のものがあり、用途により使い分ける。



縫い方に関する用語集

【星どめ】

表布に縫い目が出ないように、針目を戻しながら縫う方法。裏布の噴き出し防止や縫い代を押さえるために用いる。



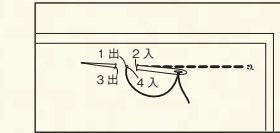
【コの字とじ】

2枚の布のでき上がり線が交差させ、縫い目がコの字になるように縫う方法。返し口をとるときなどに用いる。



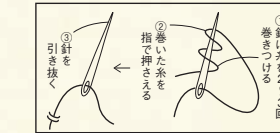
【本返し縫い】

1針前に戻り、2針先に針を出す丈夫な縫い方。



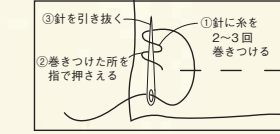
【玉結び】

縫い始める前に糸の端に結び目を作ること。



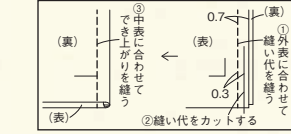
【玉どめ】

縫い終わりに結び目を作り、ほどけなくようにすること。



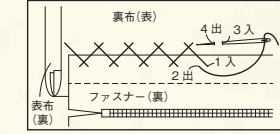
【袋縫い】

縫い代の始末のひとつ。縫い代を袋状にし、裁ち端を隠して始末する方法。



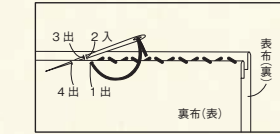
【千鳥がけ】

糸を斜めに交差させ、上下交互に針目を戻しながら縫う方法。ファスナーテープの端をとるときなどに用いる。



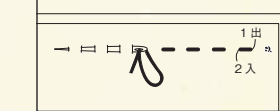
【まつり縫い】

布の折り目に対して斜めに糸を渡し、縫い目を目立たせずに縫う方法。裏布を表布にとりつけるときに用いる。



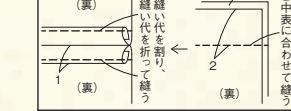
【ぐし縫い】

表裏の針目をそろえて、細かい針目(0.2cm)で縫うこと。



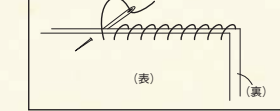
【割り伏せ縫い】

縫い代の始末のひとつ。縫い代の裁ち端を折って始末する方法。



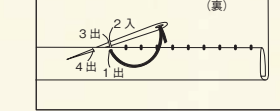
【巻きかがり】

布端をらせん状に縫うこと。



【縦まつり】

布の折り目に対して垂直に糸を渡し、縫い目を目立たせずに縫う方法。



生地

【みみ】

布の両端のほつれない部分のこと。

【バイアス】

みみに対して斜め方向のこと。みみに対して45度を正バイアスという。最も布が伸びやすい。

【布幅】

布のみみからみみまでの幅。

地直し

【縦地】

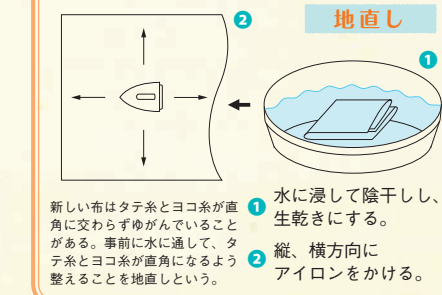
布のタテ糸の方向のこと。みみに対して平行。

【横地】

布のヨコ糸の方向のこと。みみに対して垂直。

【水に浸して陰干しし、生乾きにする。】

縦、横方向にアイロンをかける。



知っ得情報

【下準備として】

おさえおきましよう
実際に布を扱う前に知っておきたい豆知識。さまざまなタイプに当てはまる基本情報です。